'19年6月 6日日 経朝

「1日限り」店員 即日採用

小売り・外食、アプリ経由で募集

助っ人でシフト穴埋め

人手不足が深刻さを増す小売り外食業界で、直前募集・即採用の単発アルバイトが存在感を高めている。「きょう夜6時から」などと急に呼びかけても、スマートフォン経由で即座に応募が集まるため、コンビニエンスストアなどで普及が進む。固定シフトに縛られるのを嫌う若者にとっても好都合だ。新しい形の働き方は、人手不足解消の救世主となるか。

東京・日比谷。会社員らで混み合う平日昼のとんかつ店に、てきぱきと接客する女性（23）の姿があった。手慣れた様子で料理を運んでいるが、実はこの女性、臨時に雇われた「助っ人」だ。採用されたのは前日で、勤務するのもこの日限り。女性は週2～3回、働きたいときに働きたい店舗を選んで勤務する単発バイトなのだ。

「これまで約40店で単発バイトとして働きました」という女性が利用したのは、おてつだいネットワークス（東京・品川）のスマホアプリ。位置情報から現在地周辺の求人を一覧表示し、気に入った仕事があれば即座に応募できる。「急に翌日友人と遊ぶことになっても、そのためのお金を気軽に稼げるのが便利」と女性は話す。

店側にも利点が多い。急な病欠のほか、人員が足りずに埋まらないシフトが発生しても、アプリ経由で即座に募集できる。過去の勤務評価データなどを参考に面接なしで採用し、働く前に直接はいえ直接雇用なので、労災などの要件は通常のアルバイトと同じだ。

アプリへの掲載は無料で、採用すると1件あたり3千円の利用料金がかかる。何度採用しても月3万円の定額プランもある。登録している働き手は4月時点で82万人。求人件数も18年に16万件を超えた。いずれも5年前の約2倍に伸びている。

単発バイトは従来、引っ越しやイベント支援など繁閑の差が激しい職種がメーンだった。ここにきて小売り・外食にも広がってきたのは、スマホアプリで需給のマッチングがしやすくなったから。活用しきれていない労働力をデジタル技術で掘り起こし、小さな店舗でも「欠員の出そうな数時間だけ」といった柔軟な募集が可能になった。

単発バイトの老舗として04年から「ショットワークス」を運営するインディバル（東京・港）は16年秋、コンビニに特化した「ショットワークスコンビニ」をスタート。今年5月時点で利用店舗は2200と、1年で2倍に増えた。

リクルートジョブズが16年1月に開始した「ジョブクイッカー」では、求人メディア「タウンワーク」に掲載される通常の長期バイトと比べて3・2倍の応募があるという。18年度の応募数は前年度の4倍に増えた。

深刻さを増す人手不足も単発バイトを後押しする。厚生労働省によると「接客・給仕の職業」の有効求人倍率は19年4月に3・97倍。全体（1・38倍）を大きく上回り、14年4月（2・54倍）と比べても高い。

東京都内のコンビニ加盟店オーナーは「固定のバイトを雇いたいのが本音だが、最近はどんなに求人広告を出しても応募がなかなか来ない」と嘆く。このオーナーが経営する都心6店舗では、単発バイトが現場の主力だ。総人件費の6割を単発バイトが占め、固定バイト向けを上回る。

直前に募集したからといって、必ずしも時給が高くなるわけではない。一度雇えば当面の時給が固定される通常バイトと違い、当日の需給によって、時給が変動するのも特徴だ。ジョブクイッカーでは、単発バイトの時給が長期バイトより100円ほど安くなることが多いという。

一方、普及期ゆえの混乱もある。「正式な契約書のやりとりや源泉徴収票の発行まで手が回っていない。店主がポケットマネーから現金を手渡すこともある」（単発バイトを利用したことのあるコンビニ加盟店）。現場でルールが守られているか、検証する仕組みも課題だ。

自由な働き方、若者が支持

4月に始まった「特定技能」制度が軌道に乗り外国人受け入れが拡大すれば、人手不足が改善する可能性がある。単発バイトはこれまで、求人難に悩む店舗の支持を背景に浸透してきた。今後は固定シフトに縛られない働き方を好む、若い世代を取り込むサービスとして存在感を高めそうだ。

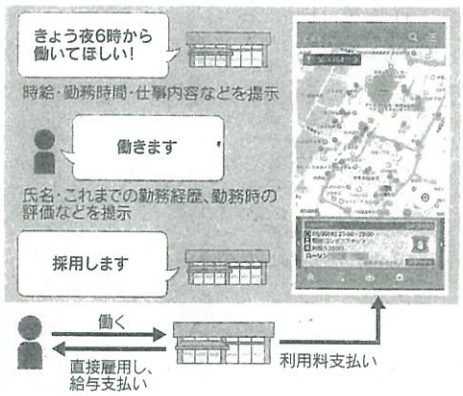
「友人との集まりは直前に決まることが多い。できるだけ予定は空けておきたい」。単発バイトとして昨冬以降約40カ所で働いたという氏家遼さん（20）は話す。別の20代女性も「テスト前などに休みたくても、定期シフトに入っていると言い出しづらい」と語る。

バイト求人情報サービス「an」の調査によると、バイト選びで大学生が最も重視するのは「勤務日数・時間・シフト変更・休みの融通がきくこと」（22・8%）で、「給与が高いこと」（15・5%）を上回った。

急場をしのぐうえで、単発バイトは大きな戦力となる。だが、それに依存していては企業の競争力が損なわれかねない。

都内のコンビニ加盟店オーナーは単発バイトについて「継続的に働いてスキルを高めてもらうという、かつての教育ができなくなっている」と話す。IT（情報技術）を活用した業務効率の改善など、通常バイトが働きやすい職場づくりも欠かせない。（藤村広平）

スマホアプリで働き手と店舗をつなぐ



（注）アプリ画面は「おてつだいネットワークス」。一部画像処理しています

単発バイト情報を提供する主なサービス

サービス名 / 提供企業	概要
おてつだいネットワークス	位置情報をもとに現在地周辺の募集を検索。店側は採用1件ごと3000円か、採用し放題で月3万円の利用料
同	
ジョブクイッカー	働き手は勤務前の疑問点を事前にアプリ経由で質問。東京23区を対象にサービス提供。長期バイトの3.2倍の応募実績
リクルートジョブズ	
ショットワークスコンビニ	コンビニ専用で16年秋より本格提供。働き手は経験チェーンを事前記入し勤務2時間前までに応募。契約店舗2200
インディバル	
タイミー	18年夏に開始、学生など7万人が働き手として登録。天候や店舗立地を分析し最適時給を自動設定する試みも
同	